

EDH制【特別指名打者制】導入について

経緯	令和6年A級リーグ戦の説明をする中で県大会を見据え、DH導入の提案を行った。 その際A級2部の代表者より、「投手も打席に立ちたい」との要望に応え 試行も兼ねて、10人制DH（EDH制）の採用を提案、承諾を得た
試行時期	令和6年3月3日（小幡杯）より採用（試行も兼ねて）
試行対象	A級リーグ戦2部にて実施 ※総会後の話し合いにて決定
試行結果	<u>特に問題なし</u> ⇒ 令和7年度 B・C級・CLに展開



趣旨 一人でも多くの方に「**打席に立つ機会を与えて**」参加した喜びと
個人の健康・生きがいをづくり、チームの絆を輪を広げて頂く

正式実施 令和7年3月2日（小幡杯）より採用拡大

対象 A級2部、B級、C級、C級リーグ戦

・大会運営上の申し合わせ事項に記載（総会議事資料）

試合要項 * EDH制を採用し、打者10人制を認める

（投手を含めた10番打者まで打席に立つ）

- EDHは守備には付けないが、打順は自由で代打・代走も送れる
- 相手投手が交代しない限り1度は打席に立たなければならない
* EDH（特別指名打者）にいわゆる”当て馬”は使えない
- 守備についた選手はEDHになれない
- メンバー交換時に（EDH制）の有無を選択出来るが
以降の変更は出来ない * 9人に戻す事は出来ない
- 1打席限定のDE（デリエントリー）は今まで通り使用出来る

* 不明な点がございましたら、メールにて連盟までお問合せをお願いします。

以上